

羅 針 盤			方 策		点検・評価		達成度		達成状況のまとめ及び次年度の課題		学校関係者評価	
評価対象	評価項目	具体的数値項目			自己評価	外部アンケート等	総合					
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 総合学科の特色を生かした教育活動を行っていますか。	・系列ごとの多様な選択科目や、少人数制の授業形態に満足している生徒が80%以上である。	・系列の特色を明確にするとともに、生徒の学習意欲の向上を図るために、少人数指導をはじめとした様々な授業形態の工夫を行う。	・生徒が地域や社会に興味をもち、主体的にキャリア形成できるよう、地域関係機関やNPO法人等と連携し、学校外の資源を活用した教育活動を充実させる。	A	A	A		・各教科で工夫をして、向かい合った生徒や社会状況を踏まえた授業を展開している。上級学校や企業との連携など、生徒の意欲向上につながる取り組みも見られた。各教科で行われている工夫を情報共有する場を設定したり、新たな取り組みに発展させたりできるような機会を創り出したい。	・1年生、2年生に限らず3年生においても外部との接点を持った探究活動を行うことができた。次年度以降、NPO法人との連携がなくなり、学校側の負担が大きくなる。分掌配置で配慮された各学年の探究担当を中心に、各学年で意見を出し合い、よりよい生徒の活動につなげていきたい。	・総合学科ということを生かし、進学・就職が選べるのがすばらしい。	
		・「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」をとおして、社会（地域）貢献や働くこと、深く学ぶことに興味をもつ生徒が80%以上である。			A	A	A				・探究活動の過程で、イベントを開催してアンケートを実施したりといった高校生の企画力に感心した。	
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	・授業中に自分の考えを説明したり発表したりする機会があると感じている生徒が70%以上である。	・知識・技能を高めるとともに、思考力・表現力等の資質・能力を育成することを意識した授業を行い、学期末の授業アンケートでその成果を検証する。	・主体的に学びに向かい、生涯にわたって学び続けようとする姿勢を醸成するために、学習内容と社会生活とのつながりを意識させた授業を実践する。	A	A	A		・各授業で学習形態を工夫し、生徒が主体的に活動する場面の創出に取り組んでいる。一方、ICTの活用頻度が少ないと感じている生徒や保護者もあり、今後も各教員の授業改善への意識を高める必要がある。	・85%の生徒が意欲的に学習に取り組んでいると回答した。一方、教員の回答は60%程度にとどまっており、各教員が生徒の知的好奇心を高めるための仕掛けを授業の中に作り出すような意識づけを進めていきたい。	・先生方の熱心できめ細かい指導方針が生かされ、諸機関との連携を図りながら改善に努められていることが分かった。	
		3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。			・意欲的に学習に取り組んでいると自己評価している生徒が80%以上である。	・探究活動において、生徒のアウトプットの機会を複数回設定したり、外部への発信機会を設けたりする。	B	A			A	
					・総合探究や課題研究などの探究・発表活動に取り組み、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を身に付けていると感じている生徒が80%以上である。		A	A			A	
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 生徒は安心して、充実した学校生活を送っていますか。	・いじめ防止への取組を理解・確認している生徒・保護者が90%以上である。	・PTA総会や三者面談・Webページを利用し、いじめ防止の取組を周知させる。	・行事や部活動の在り方を検証するため、学校行事ごとの振り返りや生徒・保護者向けアンケートを実施する。	B	B	B		・いじめ防止への取り組みに関しては、80%の生徒の理解を得られたが、保護者の回答では68%の理解であった。いじめのない学校づくりのために、生徒が主体的にいじめ防止を広げる活動へのサポートの充実と安心・安全に登校できる学習環境の整備を目指したい。	・生徒、保護者共に学校生活や部活動が充実していると感じている割合は82%を超えている。次年度はさらに、部活動や学校行事の充実に向け、生徒が積極的に参加できる環境作りを努めたい。	・近隣の見回りをされ、地域の方々と連携して生徒の生活指導に当たられていることが分かり、重要な視点だと感じた。	
		5 交通規則を守り、交通事故を起こさないようにさせていますか。			・学校生活や部活動が充実していると感じている生徒が85%以上である。	・地域や保護者の意見を参考にし、「危険箇所マップ」を作成し活用する。	A	A			A	
					・交通事故発生件数が年間を通じて7件以内である。		・自転車通学者に対し、ヘルメット着用について声掛けを継続させる。	A			A	A
6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	・社会規範や校則を守ろうと努めている生徒が80%以上である。	・生活委員生徒が朝のあいさつ運動等を利用して、生徒自らが規則や校則を守るよう声かけを実施する。	A	A	A			・98%の生徒がルールを守っていると回答している。今後は校則の見直しなど生徒の意見を取り入れながら、生徒の規範意識向上に向けて取り組みたい。				
IV 生徒が心身ともに健康で安全な学校生活が送れるように適切な指導をしていますか。	7 生徒はコミュニケーション能力を高め、良好な友人関係構築に努めていますか。	・友人とのコミュニケーションに気を配り、交友関係がうまくいっていると感じている生徒が85%以上である。	・コミュニケーションスキルを向上させるための講演会やホームルーム活動を実施する。	・アンケートや心理検査により生徒の悩みを早期に発見し、教育相談係・スクールカウンセラーを積極的に活用した早期対応を図る。必要に応じて医療機関との連携を図る。	A	A	A		・生徒・保護者共に交友関係は良好であると回答しており、学校全体が落ち着いた状況である。	・次年度も学期ごとのアンケートからの生徒観察による情報を職員間で共有して、早期に対応できるよう努めたい。	・生徒が落ち着いた雰囲気で過ごしている。	
		8 生徒は心身の健康管理に気をつけて学校生活を送っていますか。			・心身の健康管理に気をつけている生徒・保護者が80%以上である。	・欠席者記入プリント、遅刻カード、保健連絡カード等を活用し、欠席や遅刻、保健室利用の多い生徒を早期に把握し、その要因を模索するとともに、生活習慣を振り返りを促すなどの対応をする。	B	A			B	
					・保健委員会活動の活性化を通して、全校生徒が自身の健康管理意識を高められるよう働きかける。		A	A			A	
V 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	9 就職・進学に対応した計画的な指導を行っていますか。	・年度末の進路決定生徒が95%以上である。そのうち、国公立大学合格および公務員合格生徒が5%以上である。また、理系大学への進学者数が昨年度の2.0倍である。	・個別の具体的な進路目標を低学年のうちから決定させるために、年間3回の面談や模試の振り返り指導、校内・校外ガイダンスへの参加を促す。	・生徒の学習意欲を高めるために、定期的に学年ごとの学力検討会を実施し、学習意欲向上への取組の具体的な方策を確認し、個別面談を行う。	B	B	B		・年度末の進路決定状況は94.4%、国公立大学および公務員生徒の合格は2.4%、理系大学進学者は昨年度の1.5倍であった。年内試験では夏休み前から担当を配置し個別指導を行った結果、年内の進路決定状況は90%以上と高い実績を得られた。一方で、ガイダンス等をきっかけに高い目標を掲げ一般入試に挑戦する生徒も増え、そのような生徒に対しても計画的な指導ができるよう体制を整えていきたい。	・3年生は3者面談前、出願前の2回の学力検討会を実施し生徒の選択肢を広げる契機とした。また、1年生と2年生では適切な科目選択や系列選択ができるように、学年検討の場を設定し意見交換を行った。また検討会で出た意見やアドバイスを担任通じて生徒に伝えることで生徒に対し共通理解のもと一貫した指導ができるよう心がけた。また、模擬試験前や、共通テスト自己採点后には、進路部による面談等も実施した。今後は志望に対しての具体的な教材を生徒に提示し、力がついた実感を感じられるようしたい。	・具体的数値項目については、国公立大学や公務員合格の人数ではなく、生徒の「希望進路の実現」にした方がよいのではないかと。	
		10 学力や学習意欲を高める取り組みを行っていますか。			・第1回の基礎力・実力診断テストの結果と第2回のテスト結果を比較して、学習到達度が向上した生徒が70%以上である。	A	A	A				
VI 開かれた学校づくりに努めていますか。	11 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	・PTA会報を年2回発行し、内容に満足している保護者が70%以上である。	・編集委員会の活動を活性化し、保護者の意見を取り入れ会報の内容を充実させる。	・生徒の活動やPTA活動の様子を保護者に見てもらえるよう、積極的にWebページを更新していく。	A	A	A		・PTA会報誌の内容に満足している保護者が86.5%であった。次年度は、制作費の高騰もあるが内容を工夫し、少しでも100%に近づけるよう取り組んでいきたい。	・ホームページの整備、更新については行動できたが、生徒や保護者にホームページ閲覧の情報発信は行って来られなかった。ホームページを充実させるために、その業務に従事できる担当者の配置や、学校全体としてホームページを充実させていくこととする機運を盛り上げる必要があると考えられる。分掌の中の役割を整え、次年度に備えたい。	・学校行事や普段の授業の様子などを保護者に参観してもらえるとよい。	
		・Webページを閲覧している保護者が70%以上である。			B	B	B					
VII 教育デジタル化に努めていますか。	12 ICTを活用した指導を行っていますか。	・オンラインを利用して、生徒と外部との交流を年3回以上実施している。	・各教科や「総合的な探究の時間」の指導において、オンラインによる交流を含め、積極的に外部との交流機会を増やす。	・生徒向けの調査や学校評価アンケート等をICTを活用して実施する。	A	A	A		・2年次の修学旅行事前学習においては、広島市の平和学習の一環として被団協によるオンライン講話をいただき、非常に有益であった。また、総合的な探究の時間においても、外部との連絡ツールとして活用する生徒が多かった。今後は各教科学習の中における活用を考えていきたい。	・生徒の89%、保護者の86%が満足していると回答した。業務改善にも有用であるため、個人情報の管理に注意しながら、引き続き活用を進めていきたい。	・生徒がPCを使ってわかりやすくプレゼンしている様子が見られた。	
		13 ICTを活用した業務改善を行っていますか。			・ICTを活用した調査やアンケートに、生徒・保護者の70%以上が満足している。	A	A	A				